

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 いであ株式会社

コード番号 9768 URL <http://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 斎藤 博幸

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	11,858	14.4	1,093	—	1,103	—	990	—
23年12月期第3四半期	10,369	△18.9	△135	—	△137	—	△297	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 1,011百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 △338百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	138.68	—
23年12月期第3四半期	△41.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	18,898	10,556	55.9	1,478.41
23年12月期	19,895	9,616	48.3	1,346.77

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 10,556百万円 23年12月期 9,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	10.00	10.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	16.8	450	—	450	—	350	—	49.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第2四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	7,499,025 株	23年12月期	7,499,025 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	358,824 株	23年12月期	358,824 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	7,140,201 株	23年12月期3Q	7,140,339 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	<b>2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
<b>2. サマリー情報（注記事項）に関する事項</b> .....	<b>4</b>
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
<b>3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要</b> .....	<b>4</b>
<b>4. 四半期連結財務諸表</b> .....	<b>5</b>
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
(6) 重要な後発事象.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や復旧・復興事業の進捗に伴う公共投資の増加など内需の底堅い推移に支えられ緩やかに回復しつつあるものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高い中で、海外経済の減速傾向が継続するなど依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く市場環境は、価格競争の激化、契約形態の変化に伴う厳しい受注競争等が継続しており、官公庁からの受注依存度が高い当社グループとしては、依然として厳しい受注環境が続いているものの、当社業務内容と関連がある東日本大震災の復旧・復興関連事業に政府の大規模な予算が重点配分されております。

このような状況のなか、当社グループの安定的な経営を行うために、平成22年から平成24年までの中期経営計画を策定し、「イノベーションによる技術革新とムダ取り」を推進することにより、抜本的な経営改善・経営改革に取り組んでおります。また、東日本大震災の復旧・復興関連事業ではインフラ復旧のための企画提案・設計、放射性物質を含む有害化学物質の環境モニタリング、除染事業に関する計画・調査・管理、沿岸環境の改善など、特に当社の強みを活かせる事業に対して、優れた人材と技術を活用し積極的に貢献してまいりました。

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)における連結業績は、受注高122億7千3百万円(前年同四半期比11.9%増)、売上高は118億5千8百万円(前年同四半期比14.4%増)となり、通期予想売上高150億円の79.1%を計上いたしました。

また、売上高の増加、工程管理の徹底、作業効率の向上等による外注費及び販売費及び一般管理費の削減により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は10億9千3百万円(前年同四半期 営業損失1億3千5百万円)、経常利益は11億3百万円(前年同四半期 経常損失1億3千7百万円)、四半期純利益は9億9千万円(前年同四半期 四半期純損失2億9千7百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント間取引を含んでおります。)

## (環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社3社(新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株))が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は77億4百万円(前年同四半期比19.9%増)、セグメント利益は7億3千2百万円(前年同四半期 セグメント損失3千1百万円)となりました。

## (建設コンサルタント事業)

同事業は、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門の4部門より構成されています。

売上高は37億6千2百万円(前年同四半期比5.8%増)、セグメント利益は2億8千9百万円(前年同四半期 セグメント損失1億6千万円)となりました。

## (情報システム事業)

同事業は、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は3億1千9百万円(前年同四半期比10.8%増)、セグメント利益は6百万円(前年同四半期 セグメント損失2千4百万円)となりました。

(不動産事業)

同事業は、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は1億2千9百万円(前年同四半期比 13.3%減)、セグメント利益は6千4百万円(前年同四半期比 16.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億9千6百万円減少し、188億9千8百万円となりました。流動資産につきましては、主に現金及び預金の増加2億1千万円、受取手形及び営業未収入金の減少8億3千2百万円、仕掛品の減少3億5百万円により、前連結会計年度末に比べ9億4千8百万円減少し、51億6千8百万円となりました。固定資産につきましては、主に建物の減少1億6千1百万円により、前連結会計年度末に比べ4千8百万円減少し、137億2千9百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ19億3千6百万円減少し、83億4千2百万円となりました。流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金の減少6千7百万円、短期借入金の減少23億円、賞与引当金の増加1億6千8百万円、流動負債その他の増加7億円により、前連結会計年度末に比べ14億1千3百万円減少し、39億9千6百万円となりました。固定負債につきましては、主に社債の減少2億7千8百万円、長期借入金の減少1億7千4百万円、退職給付引当金の減少6千7百万円により、前連結会計年度末に比べ5億2千2百万円減少し、43億4千6百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加9億1千8百万円により、前連結会計年度末に比べ9億3千9百万円増加し、105億5千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回(平成24年2月13日発表「平成23年12月期決算短信」に記載しております。)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	661,080	871,835
受取手形及び営業未収入金	1,272,002	439,486
仕掛品	3,868,800	3,563,452
繰延税金資産	133,474	189,027
その他	182,372	105,230
貸倒引当金	△773	△263
流動資産合計	6,116,956	5,168,769
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,818,705	4,657,383
土地	6,916,452	6,916,452
その他(純額)	539,319	607,009
有形固定資産合計	12,274,477	12,180,844
無形固定資産		
投資その他の資産	124,574	106,781
投資有価証券	524,925	538,235
繰延税金資産	192,660	200,221
その他	738,685	781,257
貸倒引当金	△77,018	△77,387
投資その他の資産合計	1,379,252	1,442,327
固定資産合計	13,778,304	13,729,953
資産合計	19,895,261	18,898,723
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	476,587	408,702
短期借入金	3,131,808	831,808
1年内償還予定の社債	378,000	378,000
未払法人税等	52,255	180,166
賞与引当金	57,263	225,858
受注損失引当金	65,728	23,153
その他	1,248,302	1,948,502
流動負債合計	5,409,945	3,996,191
固定負債		
社債	1,061,000	783,000
長期借入金	733,050	558,112
退職給付引当金	2,713,709	2,645,857
役員退職慰労引当金	239,666	237,195
その他	121,675	122,223
固定負債合計	4,869,102	4,346,388
負債合計	10,279,047	8,342,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	3,278,853	4,197,679
自己株式	△138,951	△138,951
株主資本合計	9,665,712	10,584,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48,130	△27,379
為替換算調整勘定	△1,368	△1,016
その他の包括利益累計額合計	△49,499	△28,395
純資産合計	9,616,213	10,556,142
負債純資産合計	19,895,261	18,898,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,369,774	11,858,081
売上原価	7,889,702	8,345,303
売上総利益	2,480,071	3,512,778
販売費及び一般管理費	2,615,357	2,418,907
営業利益又は営業損失(△)	△135,286	1,093,870
営業外収益		
受取利息	2,794	1,721
受取配当金	4,076	4,375
保険解約返戻金	20,751	13,191
受取保険金及び配当金	32,507	8,559
その他	15,015	20,194
営業外収益合計	75,144	48,043
営業外費用		
支払利息	34,810	30,942
固定資産除却損	10,025	1,468
社債発行費	14,039	—
その他	18,049	6,055
営業外費用合計	76,926	38,466
経常利益又は経常損失(△)	△137,067	1,103,446
特別利益		
投資有価証券売却益	28,463	—
特別利益合計	28,463	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	4,200
投資有価証券評価損	38,398	2,472
投資有価証券売却損	—	1,621
特別損失合計	38,398	8,294
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△147,002	1,095,152
法人税、住民税及び事業税	75,368	168,717
法人税等調整額	74,974	△63,792
法人税等合計	150,343	104,924
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△297,346	990,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,346	990,227

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△297,346	990,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,129	20,751
為替換算調整勘定	△278	352
その他の包括利益合計	△41,408	21,103
四半期包括利益	△338,754	1,011,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△338,754	1,011,331
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,420,179	3,556,777	288,251	104,566	10,369,774	—	10,369,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,275	—	150	44,451	49,887	△49,877	—
計	6,425,455	3,556,777	288,401	149,017	10,419,651	△49,877	10,369,774
セグメント利益又は損失(△)	△31,267	△160,808	△24,188	77,270	△138,994	3,707	△135,286

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,696,271	3,757,576	319,495	84,738	11,858,081	—	11,858,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,329	5,320	—	44,451	58,100	△58,100	—
計	7,704,601	3,762,896	319,495	129,189	11,916,182	△58,100	11,858,081
セグメント利益	732,771	289,473	6,682	64,557	1,093,483	386	1,093,870

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。